

電子情報通信学会

2011年度第1回SWIM研究会

ICTビジネスモデルの事例研究

2011年6月17日

堀米 明

Figeo
field is geo

株式会社フィジオ

<http://www.figeo.co.jp>

ICT企業を取り巻く環境の変化

社会の変化

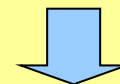
- 工業立国日本の停滞
- 貿易立国日本の地盤沈下



- ICT立国日本への期待
 - ・ グリーンICT
 - ・ スマートコミュニティ

技術の発展

- HW/SW/NWコストの低下
- システム開発技術の進展



- クラウドコンピューティング
 - ・ 作る技術から使う技術へ
 - ・ マッシュアップの多様化

・ICT企業の方向感は
・必要な技術者像は？

市場の変化

- 人月単価の低廉化
- 自治体クラウド推進 等

業界の変化

- オフショア開発の進展
- 大手ベンダの内製化 等

競争に勝ち抜くための基本戦略

マイケルポーター:「競争の戦略」

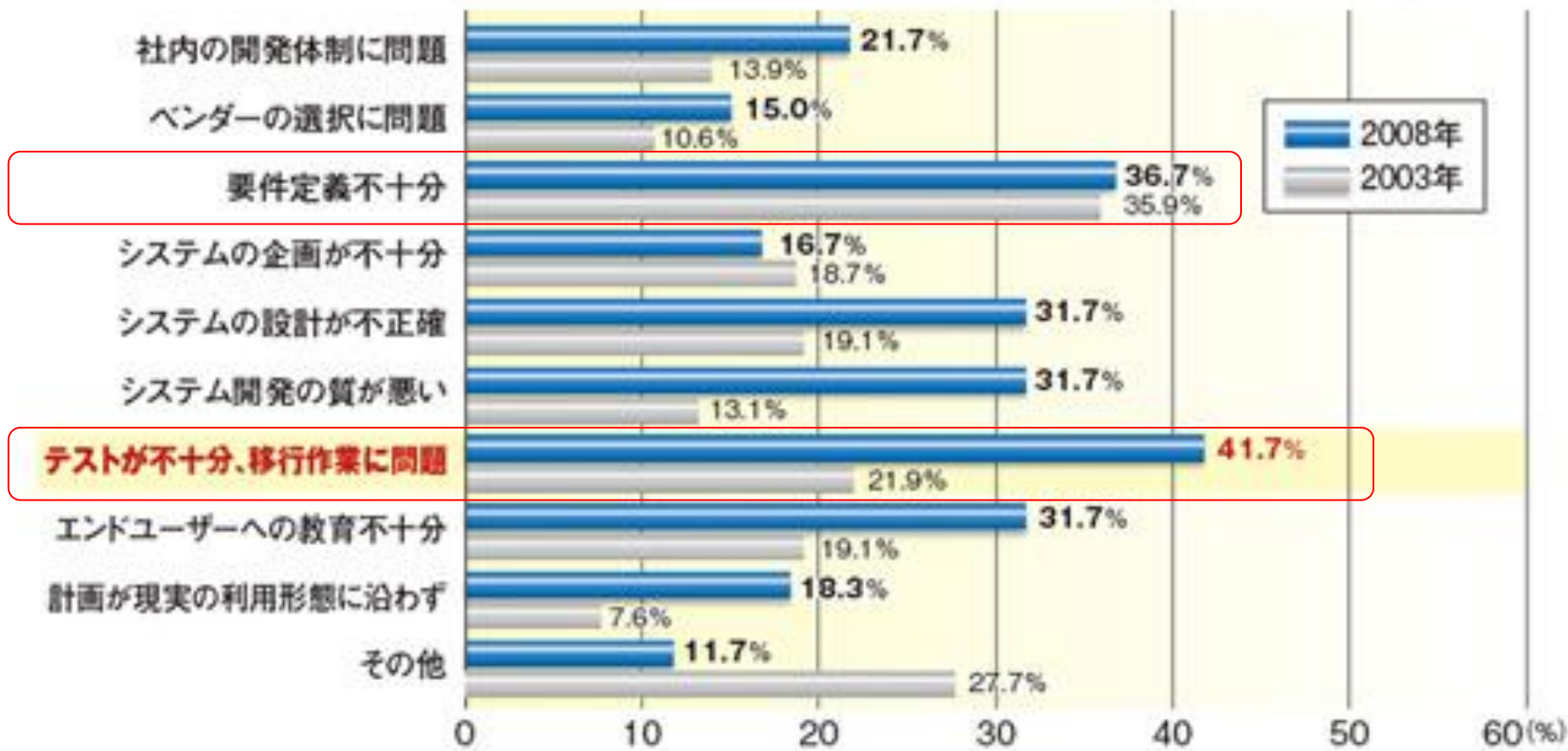
- ① コストリーダーシップ戦略
- ② 差別化戦略
- ③ **集中戦略**

本事例の中小ベンダーの取った戦略

- Step1 地方自治体 マーケットへの集中
Step2 システム開発上流工程への特化

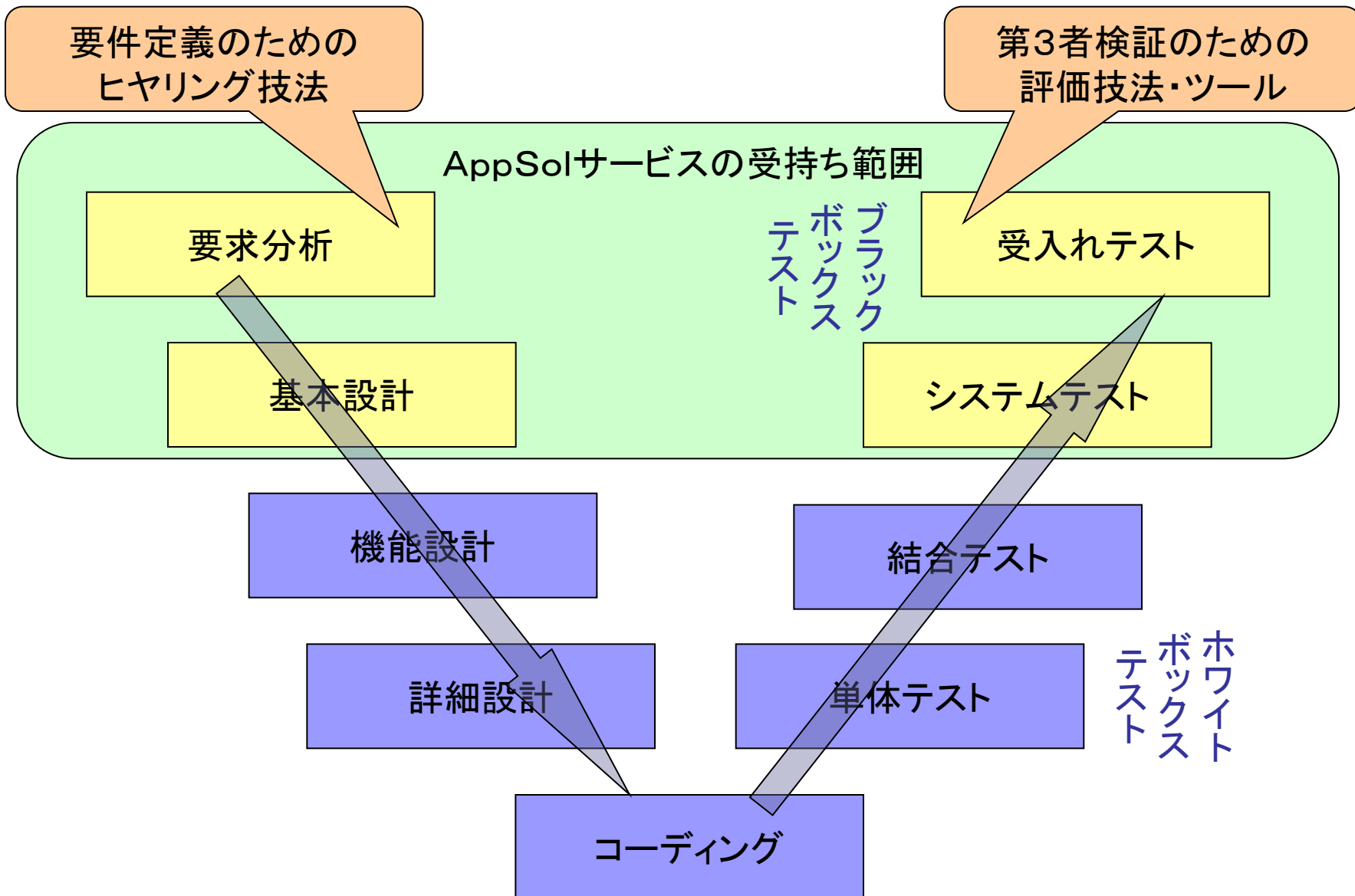
システム開発において品質に関わる問題の起きている工程

経営の課題としてのビジネスモデルの動的側面と静的側面が、IT部門に共有されていないことが根本要因となっている。



出展： 日経コンピュータ(2008年12月1日号)「第2回プロジェクト実態調査」

VモデルにおけるAppSolサービスの位置づけ



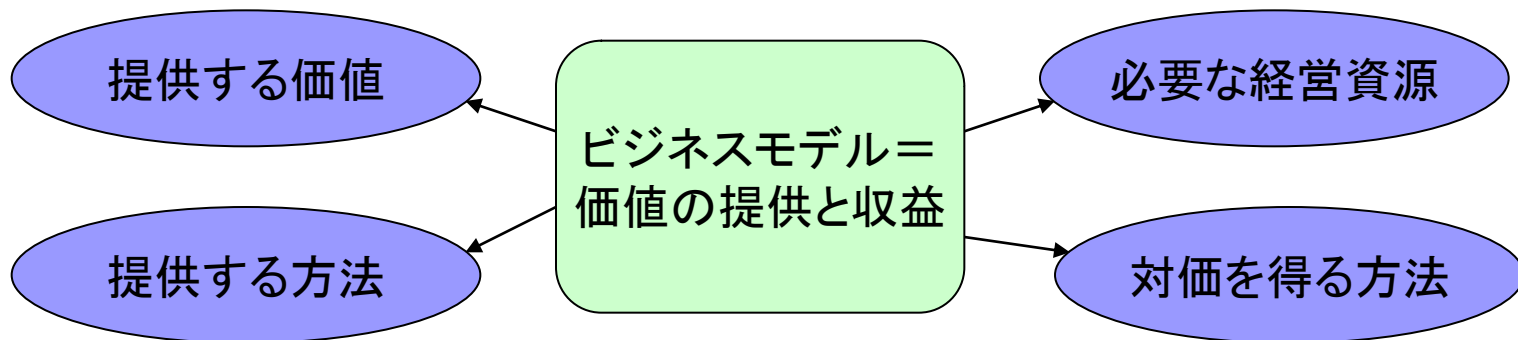
ビジネスモデルの定義

- ビジネスモデルとは、その事業(ビジネス)を成り立たせる決定的な事項、すなわち、いかに社会に求められる価値を提供できるのかを表すものと定義される。^{*1}

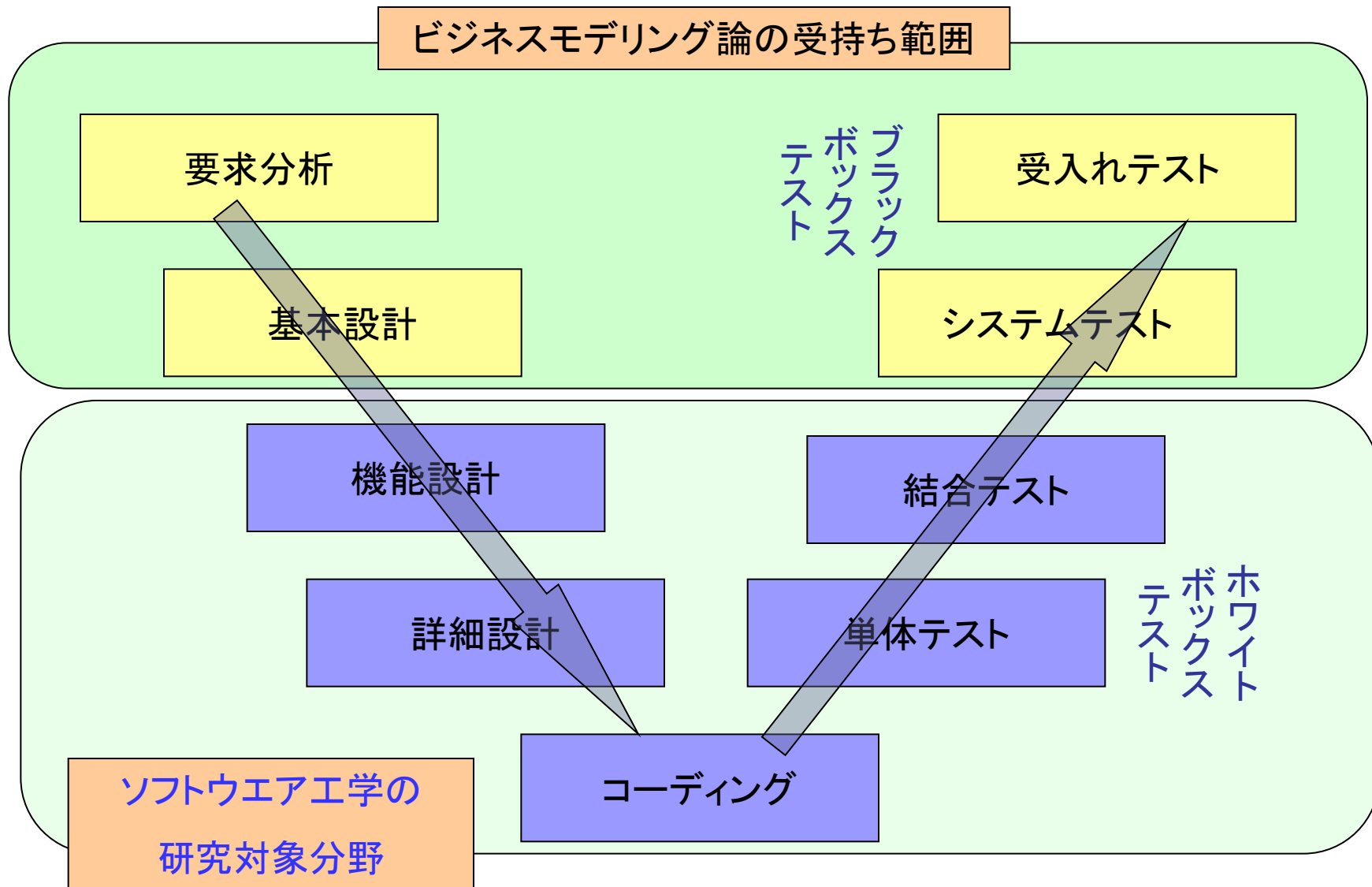
*1 松本正雄ほか「Webサービス時代の経営情報技術」p.9「2.1.3ビジネスモデルとは」より

- 経済活動における、「四つの課題に対するビジネスの設計思想」^{*2}
 - (1) 誰に、どんな価値を提供するか。
 - (2) その価値をどのように提供するか。
 - (3) 提供するにあたって必要な経営資源をいかなる誘因のもとに集めるか。
 - (4) 提供した価値に対してどのような収益モデルで対価を得るか。

*2 國領二郎「オープン・ソリューション社会の構想」



Vモデルにおけるビジネスモデリング論の位置づけ



AppSol[®]サービスの狙い

ステークホルダ

ステークホルダ=エンドユーザ
 ■情報システムで実現しようとする条件や機能をRFPに書けない。

RFP作成に必要な工数が
 予算化されていない！

ICTベンダ

■ステークホルダが必要とする要件を洗い出せない。
 ■要求定義が不十分となるため
 ・要件追加による納期の遅延、
 ・品質の悪化 などが発生する。

要求分析の不備

移行データの検証もできない！

「大規模プロジェクト(5億円以上)の10%程度しか品質・納期・コストを守れていない！」(プロジェクト経験則)

情報システム開発プロジェクトの失敗

AppSol[®]サービスのブランド化

ブランド化: 自分のビジネスモデルに顧客を誘導すること

ブランド: 顧客がお金を払う価値を製品やサービスに対して

満足し**実感**するもの

ブランディング: ブランドを維持するための絶え間ない

製品やサービスという商品に対する**品質管理**

個々の技術者に対するキャリアパスの明示

アプソルエンジニアのグレード評価項目および基準

- ・本人の自己評価
- ・顧客による評価
- ・管理者面談による評価

AppSol[®]エンジニアの定義

AppSol[®]エンジニアの定義： 業務(現場の実務)に精通し、顧客と SierのSEとの橋渡しを行い、Application Architecture 設計を行うことができるSEである。

[本論文における定義] AppSol[®]エンジニア=AA+AE

AA: Application Analyst ユーザ視点から業務経験を積んだSE

AE: Application Engineer ベンダ視点から業務経験を積んだSE

Application Architecture

「アプリケーション」とは、「業務で扱うデータの処理」であり、Application Architectureとは、「業務システム及びそのシステムの機能レベルの構造」である。

- ・どの機能がどのシステムにあるのか？
- ・その機能を使ったら、どのシステムにデータが流れるのか？



Application Architecture 設計の留意点

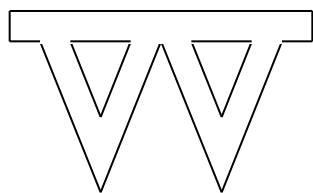
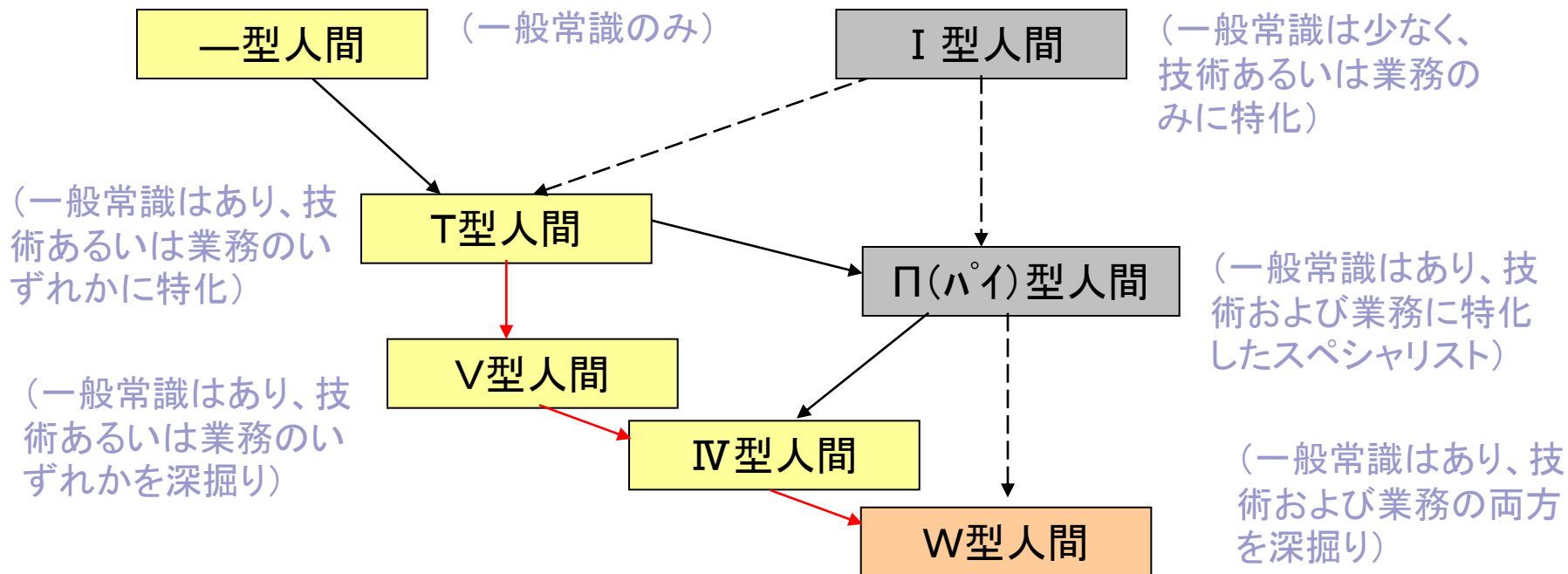
- ・現状のアプリケーション機能構成にとらわれないこと
- ・アプリケーション共通機能の括り出しと標準化
- ・変化への対応： 自社のコアコンピュタンスとそれ以外の切り分け → 自前開発とアウトソーシングの使い分け

自前開発・運用 アウトソーシング

On-premises	SaaS
	PaaS
	IaaS

もとめられるAppSol[®]エンジニア像

- 技術の柱と業務の柱をもち、コミュニケーション能力を磨くことが求められる。



コミュニケーション能力

技術の柱 業務の柱

— イチローのごとく一流になろう —
 「60点で合格」というのは学生の話、
 技術者たるものは100点を目指せ！
 自分の柱となるものを掘り下げれば、
 やがて周りの壁は崩れV字坑になる。

今後の課題

- ・要件定義のためのヒヤリングおよび纏めるための技法・ツールの整備
- ・個人の技量の客観的な評価尺度の確立 ⇒ アプソルPSP*の整備

* PSP:

Personal Software (System Analyzing and Engineering) Process

Thank you for your listening.